

図書だより 6月



2022 (令和4年) 6.1 (水) 第3号 藤井寺市立第三中学校 学校図書館司書 吉田智佳子

6月・水無月・June

通常の開館…10時15分～16時まで
ルールを守り、みんなで楽しく利用しましょう！

月	火	水	木	金	土	日
		1 閉館	2 ○	3 閉館	4	5
6 ○	7 ○	8 ○	9 ○	10 ～閉館	11	12
13 ○	14 ○	15 ○	16 ○	17 ○	18	19
20 閉館	21 ○	22 閉館	23 ○	24 閉館	25 創立記念日	26
27 閉館	28 ○	29 × 期末テスト	30 × 期末テスト			

○…開館(10時15分～16時まで) ◎…閉館…昼休みから閉館 閉館…放課後のみ閉館 ×…閉館

学級文庫が始まりました！

みんなのクラスに学級文庫が約12冊あります。

『こんな本、入れて欲しいなあ』

『これおもしろいから、置いて欲しい』

という意見がある人は、下の **学級文庫リクエストの本** に書いて、
図書委員に渡しましょう。



学級文庫リクエストの本

※学校で読める本にしましょう

月 日 (リクエストする日)	年 組 番 名前
本の題名	
書いた人 (分かれば)	

一人ひとりの読みたい本をさがしたいコーナー



三中生一人ひとりの読みたい本をさがしていきたい！と思っています。
テーマを変えて、いろいろな本を紹介しています。

『同志少女よ、敵を撃て』(逢坂冬馬/早川書房)

2022年本屋大賞 大賞受賞作

独ソ戦が激化する1942年、モスクワ近郊の農村に暮らす少女セラフィマの日常は、急襲したドイツ軍によって、母親ほか村人たちが惨殺された。自らも射殺される寸前、赤軍に救われる。その後、訓練学校で一流の狙撃兵になることを決意する。

今年度の本屋大賞受賞作です。第二次世界大戦中のソ連従軍女性兵士の話です。同じテーマの本として、『戦争は女の顔をしていない』(スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ/岩波書店) (購入予定) があります。『戦争は女の…』は、ノーベル文学賞受賞したウクライナ生まれの著者が、従軍女性から体験談を聞き取り、戦争の真実を明らかにしたものです。『同志少女よ…』は、日本人が書くとなつてどうなるのかと思ひ読みました。

この作品のスゴイ所は、歴史はもちろんのこと、戦闘シーンを本当によく調べています。そして戦争に対する思いや人間の痛みを、とてもいねいに書いています。中ほどからラストの戦闘シーンは、一気に物語が進みます。そして最後に「同志少女よ、敵を撃て」の意味がわかります。

戦争とはなんなのか。今起きている現実を思い、考えることができればと思います。

『美しい小さな雑草の花図鑑』(多田多恵子/山と溪谷社)

日経何でもランキング、ビジュアル生物図鑑1位

雑草はあなたのすぐ近くで暮らしています。田畑やその周り、野原や道端の草むら、公園の植え込みや芝生の間、庭の片隅、プランターや植木鉢の端っこ。道路のアスファルトの小さな割れ目からも雑草は花を咲かせます。雑草を探してみましょう。

日経新聞の『何でもランキング』(4.2.12)というコーナーで、堂々の第1位になっていた本です。にたような本はたくさんあるけれど、この本はコンパクトで、思わず散歩に持っていきたくなる本です。表紙もおしゃれで、思わず部屋にかざりたくくなります。

開けてみると、特大の花の写真がたくさんあり、「こんな花、あったっけ?」。同じページに実物大の写真ものっていて、「そういえば、見たことある、ある!」となりました。家のそばに「イチゴみたいな花がさいてる!もしかして、イチゴ?」と思っしらべたら、**ドクダミ**(薬草です!)でした…。(メッチャにてる)